

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年10月25日(2023.10.25)

【公開番号】特開2023-113815(P2023-113815A)

【公開日】令和5年8月16日(2023.8.16)

【年通号数】公開公報(特許)2023-153

【出願番号】特願2023-93073(P2023-93073)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 315 A

A 63 F 7/02 320

A 63 F 7/02 304 D

【手続補正書】

【提出日】令和5年10月17日(2023.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

閉鎖位置である第1位置と開放位置である第2位置とを移動可能に構成される枠体と、

前記枠体に設けられた音響装置と、

前記枠体の開放を検出可能な検出手段と、

前記検出手段により前記枠体の開放が検出される場合において前記音響装置から異常を報知させる手段と、を備え、

前記枠体が前記第1位置から前記第2位置へと移動される場合において前記音響装置の向きが第1状態から第2状態へと変化されるように構成され、

前記枠体の位置及び前記音響装置の向きが前記第2位置及び前記第2状態における前記音響装置の出力音量が前記枠体の位置及び前記音響装置の向きが前記第1位置及び前記第1状態における前記音響装置の出力音量以上に制御され得る、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

40

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかしながら、従来の遊技機では、好適に異常を報知できないという問題がある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記例示した事情等に鑑みてなされたものであり、好適に異常を報知することができる遊技機を提供することを目的とするものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本実施形態に係る遊技機は、閉鎖位置である第1位置と開放位置である第2位置とを移動可能に構成される枠体と、前記枠体に設けられた音響装置と、前記枠体の開放を検出可能な検出手段と、前記検出手段により前記枠体の開放が検出される場合において前記音響装置から異常を報知させる手段と、を備え、前記枠体が前記第1位置から前記第2位置へと移動される場合において前記音響装置の向きが第1状態から第2状態へと変化されるように構成され、前記枠体の位置及び前記音響装置の向きが前記第2位置及び前記第2状態における前記音響装置の出力音量が前記枠体の位置及び前記音響装置の向きが前記第1位置及び前記第1状態における前記音響装置の出力音量以上に制御され得ることを特徴とする。

10

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

20

本発明によれば、好適に異常を報知することができる。

30

40

50